

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成 30 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	埋蔵文化財センター施設運営活用事業				②事業番号	7622	
③事業類型	3. 政策推進事業			④開始年度	平成 9 年度	⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	○ 条例	○ 規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称 泉南市埋蔵文化財センター条例他
⑦実施手法	○ 直営	全部委託	一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	9	項	5	目	12	細目 2
⑨担当部名	⑩担当課名			会計 一般会計			
教育部		生涯学習課					

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市民	① 人口	人
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
国史跡海会寺跡のガイダンスや、展示会、歴史体験学習、フィールドワークなどのイベントを、市民と協働しながら実施することで、市民に文化財保護の必要性を認識してもらう。	① 施設の利用開場日数	日
	② 行事などの開催日数	日
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
市民と協働して文化財の活用を継続することで、文化財保護の必要性を効果的に訴求することができる。	① 施設を利用した利用総数	人
	① 計算式	
	② 計算式	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
市民と協働して事業を実施することで、文化財を活用する担い手増加につながり、それを基盤とした文化創造が見込まれる。	政策(章)	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
	施策大(節)	5 まちの風土や歴史的資産が今に息づくとともに、これらを基盤とした新たな文化が花開くまちをめざします
	施策中	1 歴史的資産の活用
	施策小	3 歴史的環境に触れる場と機会の充実

【2】各種指標値、事業費の推移

指標名		単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	人口	人	63,125	62,549	61,984			
対象指標②								
活動指標①	施設の利用開場日数	日	269	268	264			
活動指標②	行事などの開催日数	日	297	292	264			
活動指標③								
成果指標①	施設を利用した利用総数	人	7,322	8,360	7,711			
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.64	0.75	0.76			事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人	0.00	0.00	0.00			
	任期付職員	人	1.00	1.00	1.00			
	臨時職員	人						
	事業費	千円	6,816	7,658	7,825	0		
	人件費(投入人員*単価)	千円	92	57	87			
	直接事業費	千円	6,908	7,715	7,912	0		
	総事業費	千円						
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		-
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	6,908	7,715	7,912	0		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	市内の埋蔵文化財を保護し、それらの調査・研究・整理・保管及び文化財の普及啓発をおこなうため、平成9年に当施設が設置されたことによる。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	当該事業によって利用者の文化財保護の重要性の認知度が高まり、文化財に対する興味が深化している。今後はさらに文化財の有効活用に関する要求が高まることが予想される。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	-

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価 **B**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する アイ. ある程度 ウ. しない	歴史的資産の活用、歴史的環境に触れる場と機会の充実に貢献している。
②税金を使って達成する目的ですか。(市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい アイ. ある程度 ウ. いいえ	歴史的資産の活用を促進させるための多面的な活用の起点づくりを担っているため。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。(他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	利用者の多様なニーズに対応できる職員数の確保が必要となっている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある アイ. ある程度 ウ. ない	歴史的資産の活用、歴史的環境に触れる場と機会を失うことになり、市民の歴史に対する様々なニーズに対応することが困難となる。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価 **B**

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない	福祉や観光、教育など多面的な活用がされている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。(事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	現在、原則的には平日のみの開館となっており、人員や予算の増加をおこなうことによりサービスの向上が期待できる。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	学校や公民館、その他の教育施設との連携によって成果の向上が期待できる。

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価 **B**

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。(業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	学校教育との連携によって成果の向上が期待できる。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。(歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	多面的な活用の起点となる業務を担っている現状では、受益者負担は施策の後退を招くと考えられる。

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	D	効率的な業務の実施方法と、事業の継続的な実施を実現するための人材育成が必要である。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	<p>ア. 現状のまま継続</p> <p>イ. 見直しのうえで継続</p> <p>ウ. 終了 ↓ (___ 年まで)</p> <p>エ. 休止 ↓ (___ 年から)</p> <p>オ. 廃止 ↓ (___ 年から)</p>
e	<p><今後の展開方針></p> <p>a. 重点化する(集中的なコスト投入)</p> <p>b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)</p> <p>c. 効率化する(コストを下げる)</p> <p>d. 簡素化する(規模を縮小する)</p> <p>e. 統合する(他の事務事業と統合する)</p>
①改革、改善の具体案、実施年度など	R1からは事業を統合し、効率的な事業実施をはかる。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	・事業を主に担当する職員が1名であることから、長期的には人員増が望ましい。